

春を感じさせる美しい音色
スプリングコンサートが開催

3月5日、中央公民館で、スプリングコンサート（活汲小中学校PTA、リコーダーアンサンブル保護者会主催）が開催され、約120名の方が演奏を楽しみました。

コンサートには、活汲小中学校のほか、陸別リコーダーアンサンブルクラブ、RECつべつ、津別混声合唱団、津別中学校吹奏楽部の5団体が参加。日々の練習の成果を披露し、コンサート最後の出演者全員の合同演奏「Tomorrow」では、観客から大きな拍手が送られました。

3月27日に開催予定の全国リコーダーコンテストは東日本大震災（東北地方太平洋沖地震）の影響で中止になりました。



傾聴の大切さを学ぶ
傾聴講座が行われました

3月12日、津別町社会福祉協議会で傾聴講座（津別町社会福祉協議会主催）が開催され、12名の町民が参加しました。

講師には、NPO法人北海道総合福祉研究センターの五十嵐執行理事長を招き、「すぐ活かせる傾聴（心を傾けて聴く）方法」をテーマに、簡単な傾聴方法や傾聴する上での留意点などの講演を行いました。講演の途中には、隣同士でうなづき合ったり、目と目を合わせて話したり、傾聴していることをアピールする練習も行われました。



五十嵐理事長は、「目を合わせて話せば、威圧することもできるし、愛情を持つて接することもできるんですよ」と話し、参加者は傾聴について理解を深めました。

townics

まちのわだい

介護の知識や基本を学ぶ
介護技術学習会が行われました

2月21日、22日の2日間、共和の津別町デイサービスセンターで「介護技術学習会（津別町地域包括支援センター主催）」が開催され、講師に札幌市の「北のくらしと地域ケア研究所」代表の鈴木英樹さんを招き、2日間で76名の参加がありました。

今回の学習会は、町内の高齢者介護に携わる職員が対象で、それぞれグループにわかれて、普段おこなっている介護やりかたの方法を再確認し、最新の用具を使った技術や知識を学びました。



鈴木さんは、町内に3日間滞在し、グループホームや特別養護老人ホームなどの施設を視察。職場での実技指導も行われました。

3月5日、チミケツプ湖でアソビバ！つべつ（社会教育課主催）の「ワカサギ釣り体験」に児童22名が参加し、ボランティア6名の協力を得て行われました。

当日は、晴天に恵まれ、風もなく温かい1日でした。チミケツプホテルの勝田支配人より、参加した児童に温かいココアの差し入れがありました。参加者は、「昨年も参加しましたが、今回はあまり釣れませんが、釣果はいまいちでしたが、ワカサギ、ヤマベ、ニジマス、ウグイが釣れると大きな歓声が上がっていました。



冬のチミケツプ湖の釣り
ワカサギ釣り体験が行われました

雪国の森を歩く
歩くスキーの集い開催



3月13日、ランブの宿森つべつ奥林道で歩くスキーの集い（社会教育課主催）が開催され、20人の参加がありました。

中央公民館から上里まではバスで移動し、林道に到着。歩いたのは1周約3kmのコースで、途中山の中腹にある見晴台を目指し、懸命に歩きました。参加者は初心者から愛好者の方も多く集まり、体力のある方は2周目するなど、それぞれのペースで歩くスキーを楽しみました。

歩いた後は温泉内のレストランで食事と入浴をし、日々の疲れをいやしました。

2月17日、24日、3月3日の3日間、町民会館、調理室で津別町役場の武田栄養士と我妻栄養士が講師を担当し、「男の料理教室」が、津別町社会福祉協議会の主催で開催されました。

2月17日は、60歳以上の男性の方16名が5班に分かれて、津別町赤十字奉仕団のボランティア方5名の協力、アシストを受けて、料理作りに挑戦。献立は、ご飯、大根とふのりの味噌汁、ほっけのみみじ焼き、筑前煮、栗入り豆腐蒸しパン。

料理は手際よく調理され、見た目もよく、美味しい料理に出来上がりました。

料理に挑戦
男の料理教室開催



社会教育講座
スノーシューハイキング



3月12日、社会教育講座（社会教育課主催）「スノーシューハイキング in チミケツプ」がチミケツプホテルから見晴台を目指すコースで、町民の方23名が参加して行われました。

スノーシューとは、雪の上を楽に歩くための雪上歩行具（西洋かんじき）で、初めての人も簡単に、気軽に楽しめる道具です。

チミケツプ湖の森に詳しいガイドの太田博茂さんが案内をしてくれました。深い雪の森の中を散策し、見晴台からの冬のチミケツプ湖の眺めはそう快でした。

「卒園式に来てください」
青葉幼稚園児が町長に招待状

3月9日、青葉幼稚園の「そらクラス」の園児14名が23日に行われる卒園式への「かわいい招待状」を持って佐藤多一町長のもとを訪れました。

園児たちは、初めて入った町長室に緊張しながらも「こんにちは！」と元気な声で挨拶。卒園児の代表が「卒園式にぜひおいでください」と言って招待状を渡すと、佐藤町長は「必ず行きます」と笑顔で受け取りました。その後、園児から「津別の町はどうやってできていますか」「津別は何で木だらけなんですか」などと質問があり、最後に記念撮影をしてお別れしました。



佐藤町長に質問する園児たち



佐藤町長と記念撮影をする園児